

令和 5 年度事業計画書

■ 基本理念

誰もが安心して 生き活きと 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり
～ともに生き、つながりを絶やさない地域づくりを目指して～

■ 基本方針

少子高齢化や人口減少といった社会状況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民の日常生活に大きな影響を及ぼし、地域社会においては、人と人とのつながりがこれまで以上に希薄化し、経済的に困窮する人や社会的に孤立した生活を送る人の増加が懸念されます。

新型コロナウイルス感染症の影響による制限が緩和されつつある中で、これまでに顕在化した地域の福祉ニーズに引き続き対応するとともに、コロナ禍で減少している各事業の利用実績をコロナ禍前の水準に戻していきたいと考えています。

また、令和2年3月より新型コロナウイルスの影響により収入が減少した人を対象とした生活福祉資金のコロナ特例貸付の相談受付を実施してきましたが、令和4年9月に申請受付が終了し、令和5年1月から償還が開始されていることから、今後は、償還免除や償還猶予についての継続的な相談支援を行い、実施主体である青森県社会福祉協議会と連携した債権管理に取り組みます。

このような状況を踏まえ、本年度は、本会の活動指針となる「第4期地域福祉活動計画」の2年目にあたり、その基本理念である「誰もが安心して 生き活きと 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり～ともに生き、つながりを絶やさない地域づくりを目指して～」の実現に向けて、地域住民をはじめ、各種団体、行政と連携・協働し、地域福祉推進を担う中核組織としての役割や機能を発揮できるよう、計画目標の達成に向けて各事業を引き続き効果的かつ着実に実施してまいります。

また、八戸市指定管理施設である、八戸市総合福祉会館、児童館(15館)、八戸市南郷デイサービスセンター及び老人福祉センター南郷の指定管理期間の最終年度となることから、次期指定管理者の公募に向けて、現状の業務についての課題分析や見直しを行って万全の準備を進め、継続受託を目指します。

■ 基本目標

- I みんなで支え合う地域づくり
- II 福祉の心を育む人づくり
- III 安心して暮らせる地域づくり
- IV 信頼される運営基盤づくり

■ 実施計画

I みんなで支え合う地域づくり

すべての人が、自分が暮らす身近な地域で起きている問題に関心を持ち、自ら参画し、地域における多世代間での交流、話し合いを通じて解決につなげられる場の充実に努めます。また、住民の福祉意識を醸成し、住民や地域の団体など地域の資源を最大限活用し、見守り・助け合いの活動を促進することで、みんなで支え合う地域を目指します。

(1)地区社協への支援【社協会費・共同募金配分金】

①地区社協の育成支援

地区社協で実施している活動の情報交換の機会を増やすなどして、活動の地域差の解消、未設置地区の解消を図り、地域での支え合いの活動を推進する。

②地区社協の活動支援〔26 地区社協〕

地区社協と市社協が、車の両輪となって協働し、地域の生活・福祉課題を一緒に考え、解決に向けて取り組んでいけるよう、地区社協の運営・活動における相談を受け付けるとともに、運営や活動従事者への研修を行う。

・地区社協会長、事務局長会議〔5月〕

(2)住民同士の支え合いの促進

①ほのぼのコミュニティ21推進事業の実施【市委託事業】

- ・ほのぼの交流協力員による高齢者等の見守り活動〔22地区社協〕
- ・見守り活動連絡会の開催〔5回〕
- ・見守り活動研修会の開催〔1月〕

②八戸市高齢者生きがいと健康づくり推進事業の実施【市委託事業】

- ・高齢者ほっとサロンの開催〔22地区社協、75 サロン〕
- ・三世代交流事業の開催〔16 回〕
- ・ニュースポーツ講座の開催〔4回〕
- ・シニアいきいき講座の開催〔15回〕
- ・サロンリーダー研修会〔2 回〕
- ・高齢者生きがいと健康づくり推進会議の開催〔2 回〕

③子育てサロン事業の実施【市委託事業】

- ・子育てサロンの開催〔19 地区社協、19 サロン〕
- ・キッズフェスティバルの開催〔令和5年7月 5 日(水)総合福祉会館〕
- ・子育てサロンスタッフ研修会〔1 回〕

④ファミリーサポートセンターの運営【市委託事業】

〔事業対象地域：八戸圏域連携中枢都市圏内〕

- ・子育ての援助を受けたい方(依頼会員)と子育ての援助を行いたい方(提供会員)の登録及び紹介業務
- ・提供会員養成講習会の開催〔7月、11月 各 3 日間〕
- ・会員のスキルアップ研修会の開催〔6月、8月、10月、1月〕
- ・会員の交流会の開催〔12月、3月〕
- ・会報誌の発行〔5 月、9 月、2 月 各 1,500 部〕

(3)福祉ニーズの把握【社協会費】

①地域福祉懇談会の開催〔2回〕

定期的に地域福祉懇談会を開催し、情報交換や意見交換をすることにより、地域の福祉課題を共有するとともに、住民の福祉意識を高める。

II 福祉の心を育む人づくり

地域福祉の推進には、地域の人々の理解と協力が必要です。地域福祉に触れるきっかけとして、地域福祉情報やボランティア活動情報の発信、福祉教育・体験、イベントの開催等を行い、地域で協力し合える関係を築きます。

(1)福祉教育の推進【社協会費・共同募金配分金】

①ボランティア推進校事業の実施〔14 校〕

児童・生徒を対象とし、社会福祉への関心や理解を深めるとともに、地域でのボランティア活動等を通して、思いやりの心を育て、お互いに助け合う力を育むことを目的にボランティア推進校を公募し、活動費を助成する。

②出前講座の実施〔随時〕

車椅子体験、高齢者疑似体験、点字体験、知的障がい者体験等の出前講座を開催し、市民の福祉意識の啓発を図る。

(2)ボランティア活動への参加促進【社協会費・共同募金配分金】

①ボランティアセンター運営事業

ア、ボランティアセンター運営委員会の開催〔2回〕

イ、ボランティア活動情報の発信

- ・ホームページや社協広報紙への情報掲載
- ・ボランティア活動メニューの作成

ウ、ボランティアコーディネート機能の強化

- ・ボランティアの登録受付及び活動紹介
- ・ボランティア活動保険の加入促進

エ、ボランティア講座の開催

- ・ボランティア入門講座〔6月〕
- ・点字体験講座〔1回〕
- ・知的障がい者体験講座〔1回〕
- ・福祉体験学習サポーター養成講座〔1回〕

オ、善意銀行の運営

- ・寄付物品の預入、払出
- ・車椅子の貸出

カ、ボランティア団体等のネットワークづくり

- ・ボランティア・市民活動フェスティバルの開催
〔令和5年8月19日(土)八戸ポータルミュージアムはっち〕
- ・愛の輪レクリエーションの開催
〔令和5年11月15日(水)八戸市公民館〕

キ、企業の社会貢献活動への支援

- ・企業からのボランティア相談に応じ、活動先などの紹介を行う。

②シニアはつらつポイント事業【市委託事業】

高齢者が介護施設等で行ったボランティア活動に対して、金券等との交換や福祉団体への寄付ができるポイントを付与する事業に取り組み、高齢者の社会参加や地域貢献活動を支援する。

- ・説明会&研修会の開催〔5月、9月、1月〕
- ・スキルアップ講習会の開催〔10月、3月〕

(3)活動の担い手の養成

①活動の担い手の養成

地域福祉活動に関する広報の充実を図り、様々な講座や研修会、イベントへの参加を通して、若い世代や子育てを終えた世代、退職を控えた世代が気軽に地

域福祉活動に参加できるよう、プログラムの充実を図り地域福祉活動の仲間（担い手）を確保する。

Ⅲ 安心して暮らせる地域づくり

誰もが、地域でいつまでも安心して暮らせるよう、日頃から地域の助け合いの中で、一人ひとりの権利や生活が守られ、安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。また、災害時のボランティアの体制づくりやネットワークづくりを進めます。

(1)地域での自立支援体制の充実

①生活困窮者自立相談支援事業【市委託事業】

- ・八戸市生活自立相談支援センターの運営〔市庁別館9階〕
- ・生活困窮者の自立相談支援
- ・住居確保給付金の相談及び申請の支援
- ・家計相談支援
- ・支援調整会議の開催〔12回〕

②たすけあい資金の貸付及び生活福祉資金の貸付相談、償還事務

- ・たすけあい資金等貸付審議会の開催〔2回〕

③フードバンクの実施

一時的に生活に困窮している世帯に、市民や企業から寄付された食料を提供し、生活を支援する。また、社会的に孤立しがちな子育て家庭とつながるきっかけとするため「八戸子ども宅食おすそわけ便」を開催する。

- ・八戸子ども宅食おすそわけ便〔偶数月の最終日曜日〕

④ふれあい相談所の運営【社協会費・共同募金配分金】

- ・なんでも相談〔毎週水曜日・金曜日 10時～15時 祝日休〕
- ・法律相談〔毎週火曜日、法テラスとの共催により実施 祝日休〕

⑤障がい者への就労支援事業等の実施【市委託事業】

- ・障がい者就労サポーター養成講座の開催
〔講義5回、事業所見学会2回〕
- ・障がい者就労支援団体ネットワーク事業の実施
〔ネットワーク会議5回、運営委員会2回、研修会1回〕
- ・八戸圏域連携中枢都市圏連携事業障がい者福祉合同研修会等の開催
〔講演会1回、研修会1回、市町村担当者会議1回〕

⑥福祉安心電話サービス事業の実施【南郷地区のみ市委託事業】

- ・青森県社会福祉協議会との協働により緊急通報装置の設置運営を行う。

⑦福祉団体との連携と育成

- ・八戸市民生委員児童委員協議会事務【団体事務受託】
- ・市長を囲む社会福祉懇談会の開催〔1回〕
- ・福祉団体の活動支援【共同募金配分金】

〔地区民児協 25 団体に活動補助金を交付
福祉団体 13 団体に活動補助金交付〕

⑧社会福祉法人のネットワーク構築事業【社協会費】

社会福祉法人制度改革により、地域における公益的な取組が、社会福祉法人の責務として明確化されたことに伴い、社会福祉法人がともに、複雑化・複合化した地域生活課題に取り組む体制を構築する。

(2)権利擁護の推進

①日常生活自立支援事業【県社協委託事業】

〔事業対象地域：八戸圏域連携中枢都市圏内〕

認知症や知的障がい、精神障がい等により、自分一人で意思決定し実行に移すことが難しい状態にあり、日常生活に不安のある方が、安心して地域で暮らせるように、福祉サービスの利用手続きや日常生活上の支払、大切な書類の保管等の援助を行う。

②八戸圏域成年後見センターの運営【市委託事業】

〔事業対象地域：八戸圏域連携中枢都市圏内〕

- ・権利擁護の総合相談
- ・市民後見推進事業〔フォローアップ研修 4 回〕
- ・成年後見ネットワーク会議(6 月、2 月)
- ・成年後見制度の研修、啓発

〔成年後見制度説明会 市内 2 回、町村 2 回
成年後見セミナー等 一般市民対象 1 回、専門職対象 1 回〕

③市民後見人の後見監督業務

市民後見人が受任しているケースについて、家庭裁判所からの要請に応じて後見監督人を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理と身上監護を行う市民後見人の活動を支援する。

④法人後見事業

認知症や知的障がい、精神障がい等により、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、市社協が成年後見人等を受任し、被後見人等の財産管理、身上監護を行うことで、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、その権利擁護を支援する。

- ・法人後見事業運営委員会の開催〔1回〕

(3)災害時の支援体制の充実【社協会費・共同募金配分金】

①災害ボランティアコーディネーターの育成

県社協等が開催する「災害ボランティアコーディネーター養成講座」の受講を促進し、市民に災害ボランティア活動や災害ボランティアセンターの役割、必要性に対する理解を広げる。

②災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

八戸市等の総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行い、災害時の体制整備を図る。〔令和5年10月1日(日)〕

③災害ボランティアの啓発活動

災害ボランティア展を開催し、広く市民へ災害ボランティア活動の理解促進を図る。〔2回〕

④災害ボランティアネットワーク八戸との連携

災害ボランティアネットワーク八戸加入団体との情報交換会を開催するとともに、災害ボランティアセンターマニュアルの見直しを定期的に行う。

・災害ボランティアネットワーク八戸加盟団体連絡会〔2回〕

(4)福祉サービスの充実

①介護保険サービスの実施〔南郷支局〕

- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業

②苦情解決窓口の設置

- ・本会が提供する福祉サービスに係る利用者からの苦情の解決を図るため、苦情解決窓口を設置
- ・福祉サービス苦情対応第三者委員会の開催〔1回〕

③八戸福祉人材バンクの運営【県社協委託事業】

福祉の仕事をしたい人と、人手を必要とする福祉施設を結ぶ福祉の仕事の無料職業紹介事業を行うとともに、福祉マンパワーの育成を行う。(無料職業紹介事業については、職業安定法に基づき、厚生労働大臣の許可を得て行う。)〔事業対象地域：八戸市、三戸郡、十和田市、三沢市、上北郡〕

- ・福祉の仕事と職場説明会の開催〔1回〕
- ・高校生福祉施設体験講習会の開催〔1回〕
- ・小・中学生福祉施設体験講習会の開催〔1回〕
- ・福祉の職場巡回訪問
- ・一日移動相談会の開催〔6回〕
- ・福祉施設職場体験事業の実施
- ・介護員養成研修受講費補助事業の受付

④実習生の受入れ

- ・社会福祉士等の実習生の受入〔3名程度 8月中旬より23日間〕

⑤福祉バス受付業務【市委託事業】

- ・受付事務〔運行台数1日2台：リフト付き大型47席、中型40席〕
- ・運行業務受託先との連絡調整
- ・福祉バス運営委員会の開催〔2回〕

⑥歳末たすけあい募金配分事業【歳末たすけあい募金配分金】

- ・歳末時期等に地域の福祉ニーズに沿った即応性のある取り組みを行う。
〔地区社協、福祉団体等へ配分金を交付〕
- ・配分委員会の開催〔1回〕

⑦地域密着型サービス外部評価への協力

県社協が実施する地域密着型サービス外部評価の評価調査員として評価業務を行う。〔調査員11名〕

⑧指定管理施設運営【指定期間：令和元年度～令和5年度】

- ・八戸市総合福祉会館〔はちふくプラザねじょう〕
- ・八戸市児童館

〔小型児童館6館：豊崎、三条、是川、南浜、高岩、松館
児童センター9館：中央、湊、小中野、吹上、白銀、大館、鮫、八戸ニュー
タウン、江陽〕

- ・八戸市立南郷デイサービスセンター及び老人福祉センター南郷

IV 信頼される運営基盤づくり

I～Ⅲの目標達成のために、市社協が担うべき役割を再認識し、地域資源や取り組むべき課題について分かりやすく伝え、活動への幅広い層の参加につながるよう、広報の強化に取り組めます。また、地域や専門職等から把握した情報を、各関係団体や関係機関、行政と連携した包括的な支援につなげられる人材育成に努めます。

(1)組織運営事業【社協会費】

①理事会等の開催

本会の運営上の重要事項決定や事業執行のため、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会を開催する。

- ・理事会の開催〔年3～4回〕
- ・評議員会の開催〔年2～3回〕
- ・評議員選任・解任委員会の開催〔1回〕

②監査の実施

- ・事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施〔1回〕

③情報公開

- ・法人の運営状況や財務状況をホームページで公表

④第4期地域福祉活動計画の進行管理

- ・地域福祉活動計画推進委員会の開催〔2回〕

(2)自主財源の確保

①会員の拡大【社協会費】

住民主体の福祉活動の推進や法人の適正な運営を維持するため、安定した会費収入の確保に向けて、会費の使途や市社協の活動を「見える化」し、会員制度への理解と加入促進を図る。

区分	年額	内容
一般会員	200円(1世帯)	町内会
団体会員	2000円(1口)	各種団体等
特別会員	2000円(1口)	個人
	5000円(1口)	企業
施設会員	2000円(1口)	社会福祉関係施設

②共同募金運動の推進【共同募金事務費】

共同募金は、さまざまな民間の地域福祉活動や災害時支援に役立てられており、市社協の地域福祉事業にも配分され、貴重な活動財源となっている。八戸市共同募金委員会の事務局として共同募金のしくみや使途の周知を図り、共同募金運動の参加を促進する。

- ・運営委員会の開催〔2回〕

(3)職員の資質向上と人材育成【社協会費・各委託事業】

職員の専門性を高めるため、資格取得を促進するとともに、内部研修、外部研修などに積極的に参加させ、業務に必要な知識の習得、他市町村社協との情報交換を図り、職員の資質向上に努める。

(4)広報活動の充実【社協会費・共同募金配分金】

①広報誌の発行〔6月、9月、12月、3月 各11,000部、企業広告掲載〕

②インターネットを活用した広報〔ホームページ・フェイスブック〕

③八戸市社会福祉大会の開催

- ・社会福祉に功績のあった方の表彰及び記念講演

〔令和5年10月25日(水)13時30分 八戸市公会堂〕